

2024年10月13日

全信保労連第64回定期大会あいさつ

全国金融労働組合共闘会議議長 浦上義人

全国金融共闘議長、全損保の浦上です。

第64回定期大会の開催に心からお祝い申し上げます。また、大会にお招きありがとうございます。そして、日頃から、金融共闘のとりくみへの参加も含めて、全信保労連のみなさんが、自らの労働条件の改善はもとより、労働運動の前進のため奮闘されていることに、心から敬意と感謝を申し上げます。

さて、ウクライナ危機による穀物やエネルギーの供給不足と物流の滞りは長期化し、世界各国の物価高は続いています。日本では、大企業の内部留保が過去最高を記録する一方で、歴史的な物価上昇が家計を直撃するとともに、ここ2カ月は少し上がりましたが、実質賃金は2年以上下がり続けたことから、個人消費の停滞は続いていて、国民にはかつてない将来不安が広がっています。

こうしたなか岸田政権がすすめてきた3年間の政治は、厳しい生活を強いられる国民・労働者を救い、不安を払拭するものとはなっていません。さらには、防衛費を5年間で2倍にすることを決め、北朝鮮や中国の脅威を理由に、憲法9条への自衛隊の明記、緊急事態条項の新設などの改憲を具体化しようとしており、国民の思いに反して核兵器禁止条約にも参加しないなど、「戦争ができる国」へ突き進んでいます。

しかし、こうした動きに対し、国民の怒りはかつてなく高まっており、今こそ労働者・労働組合が立ち上がり、「暴走政治」にストップをかけ、平和と民主主義が守られるもとの、幸せに暮らせる国にするために、あらゆる共闘を広げてたたかう情勢となっています。

金融においても、こうした経済、政治の影響を受けています。特に、日銀がすすめていたマイナス金利政策は、各金融業態へ多方面にわたって負の影響をもたらしました。また、金融行政は、さらなる規制緩和を検討し、地域金融機関の再編を押しすすめ、公務サービスの肩代わりと成長戦略への貢献を各金融機関に求めています。こうした行政の姿勢により、「実態経済を支える」という金融各業態がもつ社会的役割が喪失させられてきています。

このような行政の姿勢は、これまで以上に金融機関経営者の目を「収益」＝「儲け」に向けられることになっており、大手は海外でのM&Aを積極的にすすめ、国内では、AIなどの活用で業務の効率化をはかっています。そのような資金がない中小金融機関では、店舗の再編・統合、ATMの集約なども進めながら、人件費、物件費を削る政策を進めており、どちらを見ても、「顧客・消費者不在」であり、社会的な役割を果たそうという姿勢ではありません。このような経営姿勢による政策は、金融機関に働く仲間の生活や雇用、労働条件に大きな歪みをもたらし、働き甲斐の喪失と将来不安の高まりにつながっています。

このように、各金融業態が社会的な役割を忘れ、そこに働くものに様々な「歪み」がふりまかれる今だからこそ、金融労働者が団結し、声を出し、この国の金融のあり方、ひいては経済のあり方を問い続けることが、次の時代を切りひらいていくことにつながるはずです。そして、平和と民主主義を守るという一点で共同を広げていくことで、安心して暮らせる国へ転換させていくことができます。

みなさんが支える信用保証業務は、厳しい経営環境に置かれている中小企業・小規模事業者に対して、さまざまな枠組みを通じて、支援をおこなうことで、地域経済ひいては日本経済を支える役割を持っています。

そして、その役割をはたすために、みなさんは日々懸命に業務を行っていると思いますが、議案を拝見すると、「信用保証協会の果たす役割が重要性を増すにつれ、業務内容が複雑かつ多様化し、業務量が増加傾向であるにもかかわらず、組織改革の名のもとに職員の雇用は抑制されてきました」とあります。また、協会経営者の主体性の無さも指摘されています。

こうした労働実態を改善することも、協会の主体性を保たせるためにも、各単組の役割、産別である全信保労連の役割は、これまで以上に重要になっています。協会が「誇りと生きがいをもって働ける職場」となるために、一層ご奮闘されることを期待しています。

全国金融共闘も、同じ思いで、みなさんとともに、全力で奮闘していきます。今後も仲間が困った時には、金融共闘に結集してともにたたかうとともに、国民、地域のための金融をめざし、共同行動も前進させていきたいと考えています。そのために、金融共闘に対するいっそうの力添えをお願いしたいと思います。

みなさんが、全信保労連の団結をさらに強め、仲間の要求実現、協会の自主性を守るため、いっそう発展され、そのために、この大会が活発な討論のもとで、盛会となることを祈念します。そして、今後も、全国金融共闘のもとで、一層の共同と連帯をはかっていくことをお願いし、あいさつといたします。

ともにたたかいましょう